

新品種「信州みどり」固定種の中形ピーマン

日本の固定種ピーマンには、ししとう形とベル形はありますが、消費の主流である中形のピーマンがありません。そこで、市販の交配種を素材に、自家採種もできる中長形の固定種ピーマンを育成しました。

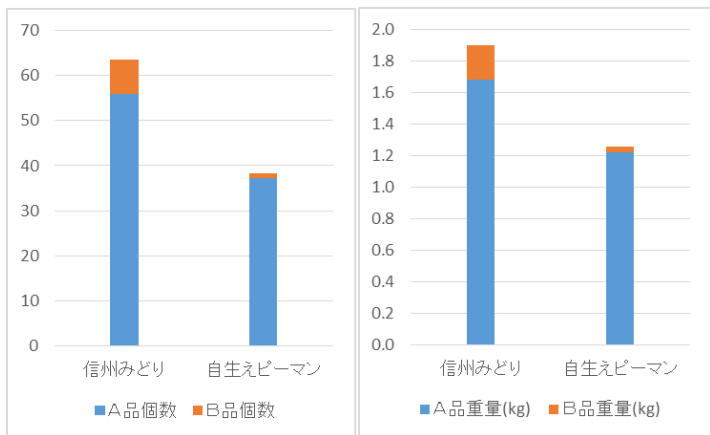


品種の特長

1. 露地栽培に最適な固定種の夏秋用中形ピーマン。
2. 草姿は半立性で枝が垂れにくく、草勢は比較的強い。
3. 栽培全期間を通じて果色は濃緑でツヤがよい。

導入メリット

中長の「信州みどり」はベル形の「自生えピーマン」に収量性が高い。



導入をお勧めする対象

家庭菜園者、有機栽培者や新規就農者の直売や自給用

栽培の留意点

初期生育を促すため、有機物の秋施用や局所施用、地温の確保を行い、定植後の活着を促す。

適作型

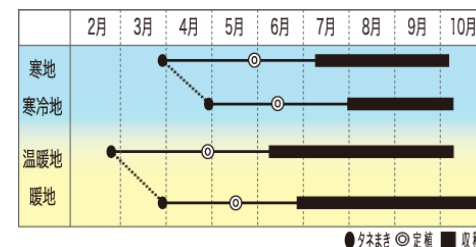


図1 株当たり個数(左)と重量(g) (右)(2018)